

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会設立 40 周年記念

第 7 次専門研究委員会報告書

地域史料の防災対策

2014

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

序

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会（略称「埼玉史協」）は、県下の市町村史編さん担当機関の連携組織として、昭和49年（1974）に「埼玉県市町村史編さん連絡協議会」として産声をあげました。その後、平成3年（1991）に現会名に変更して以来、本年で40周年を迎えます。

この間、昭和60年（1985）に第1次専門研究委員会を発足して以降、平成9年（1997）の第5次委員会まで『地域文書館の設立に向けて』と題するブックレットシリーズを全5巻刊行してまいりました。お陰様で、同シリーズは今日まで文書館を地域に設立するための手軽なバイブルとして広く全国で読み継がれ、利用されています。また、平成19年（2007）には第6次専門研究委員会を組織し、『歴史的公文書収集の現状と評価選別』を刊行しましたが、同書も日々公文書の評価選別を行っている現場の方々から高い評価を頂いております。

さて、平成23年（2011）3月11日に起こった東日本大震災は、平成7年（1995）の阪神・淡路大震災以降、これまで眠っていた地域史料に対する危機管理意識を再び強く私たちに喚起させるのに十分過ぎる出来事となりました。埼玉史協では、震災被災地における地域史料のレスキュー活動を支援するとともに、自らの防災意識を高めるため、平成24年（2012）に第7次専門研究委員会を組織し、2年間の課題研究を積み重ねた結果、ここに『地域史料の防災対策』を刊行する運びとなりました。

折しも、埼玉史協が40周年を迎える年に、本書を頒布できますことは誠にうれしい限りです。本書が、多くの関係者に利用されますことを切に願うものであります。

末筆ながら、本書の刊行にあたり、ご多忙の中、アンケートなどにご協力を頂きました各種関係機関・団体などの皆様に厚く御礼申し上げます。

平成26年3月31日

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会
会長 宮 沢 修

例 言

1. 本書は、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会（以下、「埼玉史協」という）が実施した地域史料の防災対策に関する調査報告書である。
2. 調査や研究および報告書の作成は、第7次専門研究委員会（以下、「専門研」という）が中心となって行った。その設立経緯は次のとおりである。
平成23年度 第7次専門研究委員会検討会の設置および検討報告
平成24～25年度 第7次専門研究委員会の設置、調査や研究および報告書作成

3. 本書の執筆は、次のとおりである。

| | | |
|-----|-----|---------------------|
| 第1章 | | 長谷川清一（春日部市） |
| 第2章 | 第1節 | 新井浩文（埼玉県立文書館） |
| | 第2節 | 巻島千明（久喜市） |
| | 第3節 | 新井浩文 |
| 第3章 | 第1節 | 鈴木紀三雄（行田市） |
| | | 鈴木紀三雄 吉田幸一（戸田市） |
| | 第2節 | 長谷川清一 |
| 第4章 | 第1節 | 正士 梓（三郷市） |
| | | 岩澤浩子（幸手市） |
| | 第2節 | 越前谷 理（三芳町） |
| | | 新井浩文 |
| 第5章 | | 長谷川清一 |
| 資料編 | | 長谷川清一、福島潤子（埼玉県立文書館） |

※冊子による報告書では資料編が掲載されているが、Web版ではデータ容量の都合上、割愛している。

表紙のデザイン、図版の作成ならびに編集は長谷川清一が行った。

4. 本書の作成に至るまで埼玉史協会員自治体のほか、次の機関よりご指導やご助言、アンケートの協力（実施時の名称）、そして、資料の提供を受けた。記して感謝を申し上げる（順不同、敬称略）。

北海道立文書館 札幌市総務局行政部文化資料室

青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループ

青森市総務部総務課市史編さん室 八戸市図書館市史編纂室 秋田県公文書館

大仙市総務部総務課 能代市総務課市史編さん室 釜石市 宮城県公文書館

茨城県立歴史館 日立市郷土博物館 芳賀町総合情報館 小山市文書館

成田市立図書館 東京都公文書館 板橋区公文書館 葛飾区郷土と天文の博物館

江東区総務課文書係 品川区立品川歴史館 豊島区立郷土資料館

世田谷区立郷土資料館 府中市文化スポーツ部ふるさと文化財課
神奈川県立公文書館 川崎市公文書館 藤沢市文書館
大和市文化振興課市史・文化財担当 横浜市総務局法制課市史資料室
新潟市歴史文化課歴史資料準備室 富山県公文書館
金沢市立玉川図書館近世史料館 福井県文書館 福井市総務部行政管理室分室
長野県立歴史館 長野市公文書館 松本市文書館 岐阜県歴史資料館
多治見市図書館郷土資料室 海津市歴史民俗資料館 可児郷土歴史館
静岡県経営管理部総務局法務文書課 磐田市歴史文書館 愛知県公文書館
名古屋市市政資料館 一宮市博物館 西尾市岩瀬文庫 豊田市総務部庶務課
滋賀県県政史料室 京都府立総合資料館 大阪市公文書館 枚方市文化財課
箕面市総務部総務課 東大阪市史史料室 河内長野市立図書館
豊中市情報公開課文書館 神戸市文書館 西宮市総務局総務総括室情報公開課
尼崎市立地域研究史料館 三田市立図書館市史編さん担当 奈良県立図書館情報館
大和郡山市教育委員会生涯学習課 和歌山県立文書館 鳥取県立公文書館
山口県文書館 徳島県立文書館 松茂町歴史民俗資料館 香川県立文書館
三豊市文書館 岡山県立記録資料館 広島県立文書館 広島市公文書館
熊本市総務課歴史文書資料室 天草市総務課天草アーカイブズ管理係
大分県立先哲史料館 都城市教育委員会都城島津邸 沖縄県公文書館
北谷町公文書館 名護市教育委員会文化課

※名称はアンケート実施時

青木睦 石川美代子 菊池ケイ子 北原糸子 浄安寺（熊谷市） 中村清彦
根ヶ山泰史 根岸敏彦 林貴史 蛭間健悟 宮川博司 村石彩子 山下祐樹
横川貴男

目 次

序
例 言
目 次
組 織

本文編

| | |
|---|----|
| ●第1章 研究課題と専門研究委員会の設立 | 3 |
| 第1節 第7次専門研究委員会検討会の発足 | 3 |
| 第1項 平成23年度 第7次専門研究委員会検討会 | 3 |
| 第2節 第7次専門研究委員会の発足 | 6 |
| 第1項 平成24年度の活動 | 6 |
| 第2項 平成25年度の活動 | 10 |
| ●第2章 埼玉県内における過去の災害と地域史料のレスキュー | 17 |
| 第1節 埼玉県内の過去の災害 | 17 |
| 第1項 風水害 | 17 |
| 第2項 地震 | 18 |
| 第3項 竜巻・ひょう・雪 | 20 |
| 第4項 火災 | 20 |
| 第2節 過去の災害における地域史料の被害事例 | 21 |
| 第1項 過去の災害と被災史料の処理 | 21 |
| 第2項 草加市の事例 | 22 |
| 第3項 庄和町（現春日部市）の事例 | 23 |
| 第3節 過去の災害における埼史協の救援活動 | 26 |
| 第1項 災害備蓄用地域史料保存箱 | 26 |
| 第2項 災害地への救援活動 | 27 |
| 第3項 アンケートによる被害状況調査（2011.03.31）からみる 埼玉県内の被害状況 | 28 |
| 第4項 埼史協の災害に対する取り組み | 28 |
| 第5項 埼玉県下における竜巻調査 | 32 |
| ●第3章 東日本大震災の発生における埼玉県内の被害状況 | 35 |
| 第1節 アンケート調査からみた地域史料の現状と被害状況 | 35 |
| 第1項 アンケート調査の目的と実施にいたる経緯 | 35 |
| 第2項 アンケート調査の実施と概要 | 35 |

| | | |
|-------------|-----------------------------|-----------|
| 第3項 | アンケート調査結果の分析 | 39 |
| 第2節 | アンケート調査結果からみる埼玉県内の被害状況 | 61 |
| 第1項 | 春日部市における被害 | 61 |
| 第2項 | 埼玉県内におけるその他の被害 | 67 |
| ●第4章 | 地域史料の防災ならびに災害初期マニュアル | 69 |
| 第1節 | 地域史料の防災対策に向けて | 69 |
| 第1項 | 地域史料の防災を考えるにあたって | 69 |
| 第2項 | 「地域史料の防災チェックリスト」について | 74 |
| 第2節 | 災害時の初期対応 | 77 |
| 第1項 | 災害時の初期対応 | 77 |
| 第2項 | 災害の種類と史料の被災 | 78 |
| 第3項 | 被災状況の調査と復旧に向けたスケジュール | 78 |
| 第4項 | 水損史料の初期対応 | 82 |
| 第5項 | 文化財防災ウィールの活用 | 85 |
| ●第5章 | 第7次専門研の活動と埼玉協の今後の展望 | 91 |
| 第1節 | 第7次専門研活動の総括 | 91 |
| 第1項 | 専門研活動の役割 | 91 |
| 第2項 | 専門研活動の成果 | 91 |
| 第2節 | 埼玉協の活動と今後の展望 | 92 |
| 第1項 | 埼玉協の活動と今後の展望 | 92 |

※冊子による報告書では資料編が掲載されているが、Web版ではデータ容量の都合上、割愛している。

資料編

| | | |
|---|---|-----|
| 1 | これまでの災害にともなう復興支援について | 95 |
| 2 | 東日本大震災における埼玉協会員の被害状況 | 96 |
| 3 | 第7次専門研究委員会検討会 | 97 |
| 4 | 第7次専門研究委員会設置要項 | 98 |
| 5 | 第7次専門研究委員会の活動記録 | 99 |
| 6 | 平成24年度 地域史料の防災対策の取り組みに関するアンケート | 103 |
| 7 | 平成24年度 地域史料の防災対策の 取り組みに関するアンケートの集計結果 | 114 |
| 8 | 災害備蓄用地域史料保存箱について | 140 |
| 9 | 参考・引用文献 | 143 |

| | |
|-------------|------------|
| 編集後記 | 145 |
|-------------|------------|

組 織

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会 役員（平成 24～25 年度）

顧問 吉本 富男（埼玉県地域史料保存活用連絡協議会元会長）
会長 宮沢 修（埼玉県立文書館）
副会長 千枝 直人（さいたま市）
工藤 宏（入間市博物館：平成 25 年度）
板垣 時夫（白岡市教育委員会：平成 24 年度）

理 事

足立郡 佐藤 勝巳（戸田市立郷土博物館）
入間郡 尾崎 泰弘（飯能市郷土館：平成 25 年度）
入間郡 橋本 鶴人（ふじみ野市教育委員会：平成 24 年度）
比企郡 植木 弘（嵐山町）
秩父郡 玉川 真（長瀬町教育委員会）
児玉郡 丸山 陽一（美里町教育委員会：平成 25 年度）
児玉郡 金子 彰男（神川町教育委員会：平成 24 年度）
大里郡 根岸 敏彦（熊谷市教育委員会）
埼玉郡 渋谷 克美（久喜市教育委員会）
葛飾郡 小沼 幸雄（杉戸町教育委員会）

幹 事 鈴木紀三雄（行田市郷土博物館）
長谷川清一（春日部市教育委員会）
兼子 順（埼玉県立文書館：事務局）

監 事 原 太平（幸手市教育委員会：平成 25 年度）
星野 克己（川口市教育委員会：平成 25 年度）
工藤 宏（入間市博物館：平成 24 年度）
平松 修（伊奈町教育委員会：平成 24 年度）

事務局 新井 浩文（埼玉県立文書館）
前田 芳江（埼玉県立文書館）
関口真規子（埼玉県立文書館：平成24年度、平成26年 2 月25日～）
福島 潤子（埼玉県立文書館：平成25年 4 月 1 日～平成26年 2 月24日）
番匠 圭子（埼玉県立文書館：平成 25 年度）
高柳 和子（埼玉県立文書館：平成 24 年度）

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会
第7次専門研究委員会検討会（平成23年度）委員

- 【座長】 埼史協副会長：板垣 時夫
（白岡町教育委員会）
- 【委員】 埼史協理事：橋本 鶴人
（ふじみ野市教育委員会）
- 【委員】 埼史協幹事：鈴木紀三雄
（行田市郷土博物館）
- 【委員】 埼史協幹事：長谷川清一
（春日部市教育委員会）
- 【委員】 事務局：新井 浩文
（埼玉県立文書館）
- 【委員】 事務局：宮澤 好春
（埼玉県立文書館）
- 【委員】 事務局：関口 真規子
（埼玉県立文書館）



第7次専門研究委員会検討会（埼玉県立文書館）

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会
第7次専門研究委員会（平成24～25年度）委員

- 【座長】** 長谷川清一
(春日部市教育委員会)
- 【副座長】** 鈴木紀三雄
(行田市郷土博物館)
- 【書記】** 新井 浩文
(埼玉県立文書館)
- 【委員】** 吉田 幸一
(戸田市立郷土博物館)
- 【委員】** 橋本 鶴人
(ふじみ野市教育委員会：平成24年度)
- 【委員】** 越前谷 理
(三芳町教育委員会)
- 【委員】** 巻島 千明
(久喜市教育委員会)
- 【委員】** 岩澤 浩子
(幸手市教育委員会)
- 【委員】** 正士 梓
(三郷市教育委員会：平成25年度)



第7次専門研究委員会（三郷市）

